

平成30年9月13日付【日本水道新聞】
関東支部＜技術講習会開く＞
経営改革等テーマに

協
支
部
水
関
東

経営改革等テーマに

技術講習会開く

全国上下水道コンサル
タント協会関東支部は11
日、東京・千駄ヶ谷のけ
んぱプラザで平成30年度
第2回技術講習会を開
き、60人が参加した。

講習会は、上下水道に
携わる職員の技術力向上
を目的に実施しているも
の。早稲田大学総合研究
機構水循環システム研究
所の佐藤裕弥准教授が講

演したほか、同協会上水
道小委員会の相川晃平委
員が「浄水場更新詳細設
計業務委託歩掛」につい
て解説した。

冒頭、同協会同支部の
長尾祥治技術委員長があ
いさつ。「上下水道事業
が新たな時代に突入し、
コンサルタントに求めら

れる役割も変容してい
る。事業の継続、発展に
貢献すべく、より一層の
技術力向上を図る必要が
ある」と述べ、講習会で
の幅広い知識の習得に期
待した。

佐藤准教授は、水道事
業の経営改革をテーマに
講演した。水みらい広島
や香川県広域水道企業団
の設立などに関わったこ
れまでの経験をもとに持
論を展開し、市民が期待
する水道サービスの実現
を第一に考え、地域の実
状に見合った経営戦略の
策定が必要だと強調し
た。

相川委員は水コン協が
要望し、平成30年度国庫
補助等対象歩掛で新設さ
れた「浄水場更新実施設
計（詳細設計）歩掛」に
ついて解説した。同歩掛
は浄水場の更新に当た
り、既存施設を運転しな
がらの改築が主となりつ
つあることを背景に新設
されたもの。歩掛の適用
範囲や見積の際に必要と
なる施設更新レベルの分
類方法などを解説し、見
積例を紹介した。



佐藤准教授



長尾委員長



60人が参加した